



図書館だより4月号

岡垣サンリーアイ図書館発行 2025.4 No.340



オススメの新作図書

【一般向け】

『自分でできる小さな庭の作り方』

有村 綾／漫画 プロトリフ／監修 ナツメ社



雑草だらけの状態か、四季折々の花々が咲く美しい庭に！はじめての野菜の収穫など、等身大の庭づくり体験エピソードをまんがで紹介♪

【一般向け】

『小さなエンジンで暮らしてみたら』

一田 憲子／著 大和書房



『暮らしのおへそ』編集ディレクター・イチダさんが、ささやかな日常の中での新しい発見と工夫をつづったエッセイを収録する。

【児童向け】

『にんじゃラリーマン』

丸山 誠司／作 文溪堂



今日も会社で仕事に励む忍者のサラリーマン「にんじゃラリーマン」たち。新商品が完成したのも束の間、それを泥棒に盗まれてしまい…。

【児童向け】

『はじめての国宝』

青柳 正規／監修 小学館



未来を生きる子どもたちに伝えたい！国宝を豊富な図版で紹介し、見どころや国宝が表す題材、表現の方法、国宝との向き合い方を解説！

読書会通信

【2月読書会より】

『そして、バトンは渡された』 瀬尾 まいこ著 文藝春秋

家族とは？そして、家族愛とは？

母親が二人、父親が三人という複雑な家庭環境の中で育てられた主人公の優子。いくつもの家族の中で、彼女はどのように生きていたのか。まるで、身の上話を聞かされているかのように、少女時代から結婚に至るまでの過程がつづられていく。

「本屋大賞」を受賞し、映像化もされた作品で、中高生には共感や羨望のまなざしで読まれるに違いない。夫婦別姓や同性婚などが取り沙汰されている昨今、家族のあり方について考えてみるいい機会になるのではないだろうか。

【尾崎 順子】

